

3. 成果活用に関する報告

(1) 特許

特許一覧参照

(2) 成果展開報告

新技術エージェント2名で発足したが、事業開始後早期に行った新技術エージェントによる研究者ヒアリングにより、基盤技術となり得る研究成果の存在が明らかになり、新技術エージェントを3名とし、弁理士と委託契約を交し、スキルバンクに登録、平成13年度中に30条適用の特許出願3件を行った。以降、3名の弁理士をスキルバンクに登録して特許事務を依頼して来ている。その後、新技術エージェントの尽力、中間評価による特許出願の強化要請、日本版バイドール法の適用などを経て、大学研究者にも知財権知識とマインドが醸成され、特許取得方針も明確になり、専任弁理士を委嘱する研究室もあり、特許出願は円滑に行われている。新技術エージェントは平成16年度より1名に低減した。

解析評価システムを構成する装置開発に関わる要素技術の開発には、共同研究企業が開発当初より大学研究者と開発技術分担を定めて来たため、技術移転の問題は発生していない。大学で開発された基盤技術の活用を目指す企業は共同研究契約を結んで、その後の開発を自ら行うものが殆どであったため、今の所問題は生じていない。出願特許数はPCT出願を含め46件あり、この内横浜市大のみによる発明で企業との共同研究契約がないものが3分の1程度あり、フェーズⅢでの技術移転事業化が期待される。なお、本事業期間内の成果として、事業化したもの5件、事業化に近いもの6件、将来事業化が見込めるもの7件、ベンチャー企業設立1件がある。

横浜市地域結集型共同研究事業特許一覽 1

DNA結合タンパク質の機能同定技術の開発

特許の名称	特許出願又は公開番号	出願日又は公開日	出願人	備考
テロメアDNAとヒトTRF1複合体の立体構造の利用	特開 2003 - 135087	平成 15年 5月 13日	味の素(株)	
イオン性高分子同定用高分子チップを用いた結合定数及び解離定数の算出方法	特開 2004 - 117201	平成 16年 4月 15日	日立ソフトウェアエンジニアリング(株)	外国 出願済
真核生物のテロメアの長さを調整する方法	特願 2003 - 410562	平成 15年 12月 9日	独)科学技術振興機構	
核酸の立体構造を推定する方法	特願 2003 - 428892	平成 15年 12月 25日	横浜市	
タンパク質とDNAとの複合体の結合の強さを定量的に解析する方法及び装置	特願 2004 - 27060	平成 16年 2月 3日	横浜市	
遺伝子発現制御方法、及びそれらに使用する核酸及びポリペプチド	特願 2004 - 033553	平成 16年 2月 10日	横浜市	
テロメアタンパク質 TRF2 DNA結合ドメイン変異体タンパク質、テロメアDNA変異体及びTRF2 DNA結合ドメインと重らせんDNAとの複合体構造の利用	特願 2004 - 46238	平成 16年 2月 23日	独)科学技術振興機構 横浜市	PCT 出願済
ヒトTF E の新規な亜鉛結合ドメインの構造的特徴および機能	特願 2004 - 55645	平成 16年 3月 1日	独)科学技術振興機構 横浜市	
ヌクレオシト誘導体	特願 2004 - 232955	平成 16年 8月 10日	財)理工学振興会	
出芽酵母CHD1クロモドメインの製造方法及びその磁気共鳴スペクトルの利用	特願 2004 - 311481	平成 16年 10月 26日	横浜市 財)木原記念横浜生命科学振興財団	
芳香族性置換基を導入した4-N-カルバモイルデオキシシチジン	特願 2004 - 061627	平成 16年 3月 5日	財)理工学振興会	
置換カルバモイル基を保護基とした核酸の合成方法	特願 2005 - 064892	平成 17年 3月 9日	財)理工学振興会	

横浜地域結集型共同研究事業特許一覽 2

タンパク質機能同定のための新規計測技術の開発

特許の名称	特許出願又は公開番号	出願日又は公開日	出願人	備考
多重複合体の化学シフトを同定する方法、多重複合体の立体構造を解析する方法、多重複合体のモデルを構築する方法、新規核酸分子及び試薬	特開 2003 - 294819	平成 15年 10月 15日	日本酸素(株)	
タンパク質の回収方法及びそのシステム	特開 2004 - 168712	平成 16年 6月 1日	(株)資生堂	
電気泳動分離 - エレクトロスプレーイオン化法及び装置	特開 2004 - 219247	平成 16年 8月 5日	(株)島津製作所	
質量分析用ナノスプレーイオン化用極細管	特開 2004 - 317469	平成 16年 11月 11日	味の素(株)池	
新規ベクター及びその利用	特願 2003 - 308773	平成 15年 9月 1日	横浜市	外国 出願済
アロステリックタンパク質における基質若しくはそのアナログ及び/又はアロステリックリガンドの結合部位又はその近傍を同定する方法、アロステリックタンパク質にリガンドが結合する順番を決定する方法、並びにアロステリックリガンドを検出する方法	特願 2004 - 150601	平成 16年 5月 20日	横浜市 キッセイ薬品工業(株)	
酵母 DSK 20 のユビキチン結合ドメインとモ/ユビキチンとの複合体の構造的特徴および酵母 DSK 20 のユビキチン結合ドメインによるモ/ユビキチン認識機構	特願 2004 - 231652	平成 16年 8月 6日	横浜市 (財)木原記念横浜生命科学振興財団	
微粒子充填型マイクロチップ	特願 2004 - 308790	平成 16年 10月 22日	(株)島津製作所	
固体支持体上の生体分子を質量分析する方法およびそのための固体支持体	特願 2004 - 364934	平成 16年 12月 16日	東洋鋼鈑(株) 横浜市 (財)木原記念横浜生命科学振興財団	
質量分析計によるアミ酸分析方法	特願 2005 - 363512	平成 17年 12月 16日	出願人 横浜市立大学 (株)島津製作所 味の素(株)	

横浜市地域結集型共同研究事業特許一覧 3

ラミン5・6とその変異体及び基底膜タンパク質の構造と機能

特許の名称	特許出願又は公開番号	出願日又は公開日	出願人	備考
皮膚基底膜賦活用組成物	特開 2002 - 338460	平成 14年 11月 27日	(株)フアンケル	
ラミン 3鎖の改変体	特開 2003 - 093064	平成 15年 4月 2日	独 科学技術振興機構 (財)木原記念横浜生命科学振興財団	
皮膚基底膜賦活用組成物	特開 2003 - 183121	平成 15年 7月 3日	(株)フアンケル	
ラミン・6を含む、細胞接着活性及び/又は細胞運動活性調節用組成物	特開 2003 - 212791	平成 15年 7月 30日	独 科学技術振興機構	
ラミン・5生産促進剤およびインテグリン 6 4生産促進剤を含む組成物	特開 2003 - 226655	平成 15年 8月 12日	(株)フアンケル	
表皮の扁平化を予防、防止、改善する皮膚老化防止用組成物	特開 2004 - 91397	平成 16年 3月 25日	(株)フアンケル	
I型コラーゲン及び/又はエラスチン産生促進用組成物	特願 2003 - 083943	平成 15年 3月 25日	(株)フアンケル	
ラミン5を利用した間葉系幹細胞の培養技術	特願 2005 - 240814	平成 17年 8月 23日	横浜市立大学 (財)木原記念横浜生命科学振興財団	
皮膚老化マーカーとその利用技術	特願 2005 - 240820	平成 17年 8月 23日	横浜市立大学 (財)木原記念横浜生命科学振興財団 (株)フアンケル キリンビール㈱	
I型コラーゲン産生促進用組成物	特願 2005 - 283271	平成 17年 9月 29日	(株)フアンケル	外国 出願済
異常タンパク質除去用組成物	特願 2005 - 289491	平成 17年 10月 3日	(株)フアンケル	
アトピー性皮膚マーカーとその利用技術	特願 2005 - 306498	平成 17年 10月 21日	横浜市立大学 (財)木原記念横浜生命科学振興財団 (株)フアンケル キリンビール㈱	

横浜地域結集型共同研究事業特許一覽 4

mRNAサーベイランス系の操作技術の展開応用

特許の名称	特許出願又は公開番号	出願日又は公開日	出願人	備考
新規なSMG-1	特開 2003- 38189	平成 15年 2月 12日	独 科学技術振興機構 財 木原記念横浜生命科学振興財団	外国 出願済
SMG-1結合タンパク種及びその活性を制御する物質のスクリーニング方法	特開 2004- 97029	平成 16年 4月 5日	独 科学技術振興機構 横浜市立大学	外国 出願済
SMG-1特異的 sRNA及び mRNAサーベイランス機構抑制剤	特願 2003- 191243	平成 15年 7月 3日	独 科学技術振興機構 横浜市	